

『木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援』募集のご案内について

このたび『木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援』の募集を開始することとしましたので、ご案内いたします。

本事業は、木造公共建築物等の推進を目的に、設計段階からの技術支援を必要としている地方公共団体等を広く公募し、地域にふさわしい木造公共建築物等を地域の力で作り上げていくことができるよう支援を行うものです。

1. 本事業の対象

公共建築物等の木造での建設や、それらの施設の内外装木質化に係る構想、企画、計画、設計、地域材の調達等の各段階における技術的な課題解決、木部を綺麗に見せるデザイン手法といった内容であれば本事業の対象となります。ただし、設計そのものに対する委託費用等は助成の対象とはなりません。

2. 対象事業者

- ① 地方公共団体
- ② 地域で木造公共建築物等の推進に取り組む法人等
- ③ 木造で公共建築物等を計画したい法人等

3. 本事業の実施内容

本事業の実施内容詳細は、応募要領を参照してください。
(概略のプログラムイメージは裏面を参照してください)

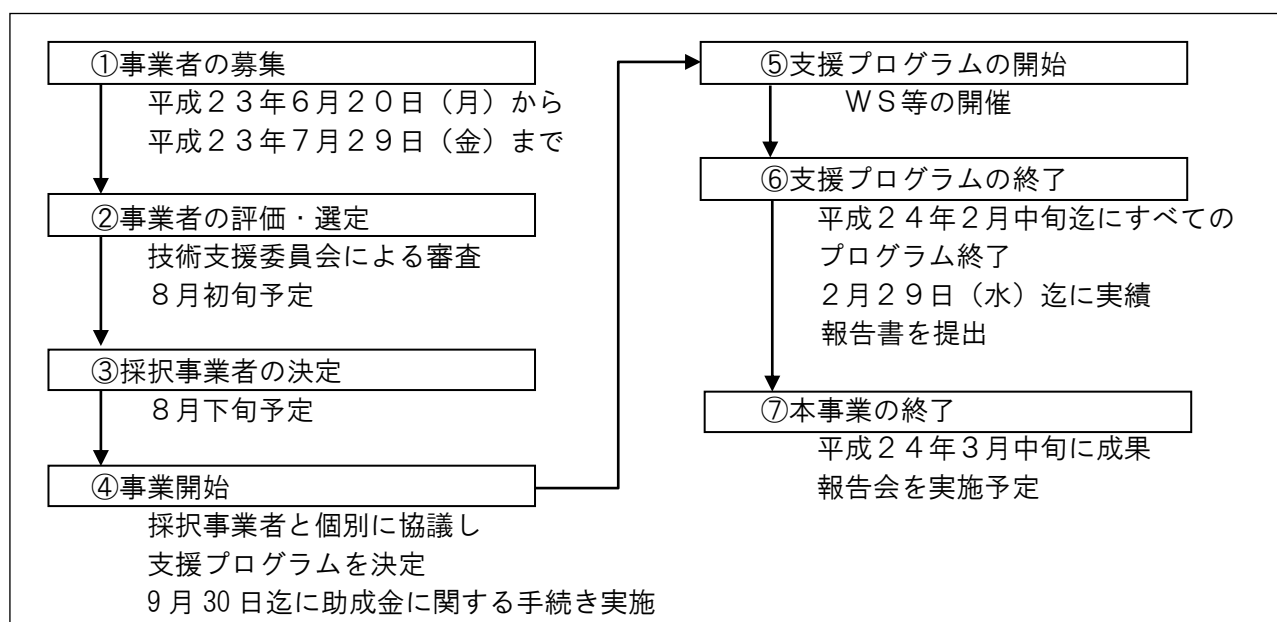
4. 審査方法

選定にあたっては、学識経験者等で構成される「木造公共建築物等技術支援委員会」において応募内容を審査し採択事業者を決定します。委員構成は右図を参照ください。

＝木造公共建築物等技術支援委員会名簿＝			
委員長	三井所 清典	芝浦工業大学	名誉教授
委員	安藤 直人	東京大学	特任教授
	稲山 正弘	東京大学	准教授
	大橋 好光	東京都市大学	教授
	加来 照彦	(株)現代計画研究所	
	澤地 孝男	(独)建築研究所	
	長澤 悟	東洋大学	教授
	中村 勉	工学院大学	特任教授
	松留 慎一郎	職業能力開発総合大学校	教授
(五十音順)			

5. 募集期間とスケジュール

募集期間：平成 23 年 6 月 20 日(月)から平成 23 年 7 月 29 日(金)まで(必着)



6. 応募に関する問い合わせ、提出先

(事務局) 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F / TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878

HP: <http://www.kiwoikasu.or.jp/>

※応募関連書類は左記HPからダウンロードできます。

■木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援例 《プログラムイメージ》

	主に発注者向け		主に設計者向け		共通	
	Aコース《企画支援型》	Bコース《発注支援型》	Cコース《計画支援型》	Dコース《技術支援型》		
コース概要	<ul style="list-style-type: none"> 木造公共建築物等の企画に未着手、あるいは、建築のイメージはあるが企画のノウハウがなく、支援を受けた。 地方公共団体等の関係部署(企画、総務、営繕、建築、林政、財政、公園施設、教育、福祉等) 地域のコンサルタント・木材生産者・設計者・施工者等も数かず参加することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 木造公共建築物等の具体的な企画があり、設計発注要件の整理や設計者選定(プロポーザル等)などの支援を受けた。 地方公共団体等の関係部署(企画、総務、営繕、建築、林政、財政、公園施設、教育、福祉等) 地域のコンサルタントも参加可能 	<ul style="list-style-type: none"> 設計演習等により木造公共建築物等の設計手法の習得を行いたい。 地域内の設計者による作業班(10~20名) 地方公共団体等の発注を担当する部署 	<ul style="list-style-type: none"> 木造公共建築物等の設計段階で、専門家による設計上の課題に対する実践的なアドバイスを受けた。 計画・設計業務を委託されている地域内の設計者 地方公共団体等の発注を担当する部署 	<ul style="list-style-type: none"> Eコース(A~D)に当てはまらない支援 左記に当てはまらない課題の解決を行いたい。 本事業の対象となる事業者すべて 	
技術支援プログラム例	<ul style="list-style-type: none"> WS①基礎知識の習得 公共建築物木材利用促進法の概要、魅力的な木造建築の事例、木造化のメリットと留意点、木造化が可能な用途・規模等の基礎知識の習得等 	<ul style="list-style-type: none"> STEP①支援方針の検討 課題の抽出と最適な支援策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> WS①基礎知識の再確認 AコースWS①の内容を加えて、共同設計課題の敷地条件・計画条件等の提示による各種検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> STEP①支援方針の検討 課題の抽出と最適な支援策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> STEP①支援方針の検討 同左 	
	<ul style="list-style-type: none"> WS②先進事例の調査(選択制) 最適な先進事例を選択し調査 WS③木造化のための地域の課題の抽出(グループヒアリング) 想定される課題 木造公共建築物等の企画の経験不足、木造施設の実験豊富な意匠・構造設計者の不足、材料供給を含めた工程作成が困難、地域材の品質管理、ストック不足など WS④ワークショップによる企画づくり 具体的な課題を設定して、実現までのアクションプログラムを検討し、成果としてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> STEP②~④支援プログラムの実施 ③回程度の支援プログラムを実施 【支援プログラムの例】 ●設計発注要件を固めるための基本構想、試設計支援 ●設計者に求める配慮事項、コンセプトの整理、敷地利用方針、必要諸室と面積配分、ボリュームチャエック、法規チェック等 ●地域材の生産状況の確認 ●概算工費の算出 ●基本構想策定委員会の企画・運営支援 ●専門家(学識経験者)の派遣 ●プロポーザルの企画・運営支援 ●プロポーザル要領書の作成、審査委員の紹介、派遣、評価方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> WS②共同設計(1)「コンセプト、敷地利用方針・平面計画」 ●敷地分析、敷地利用の方針 ●気候風土への対応など設計上の留意点、平面計画の方向性検討 ●地域材の活用方法(材料計画)等 WS③共同設計(2)「構造計画と架構方針」 ●技術支援サポーターによる構造計画のポイント講習 ●技術支援サポーターを交えた架構の検討、断面検討 WS④共同設計(3)「概略設計まとめ」 ●概略設計(配置、平面、立面、断面、架構イメージ等)を成果としてまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> STEP②~④支援プログラムの実施 ③回程度の支援プログラムを実施 【支援プログラムの例】 ●基本設計~実施設計段階における実践的な設計アドバイス ●設計・構造・材料・防火・環境・音など各分野の技術サポーターによる実践的な設計アドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> STEP②~④支援プログラムの実施 ●難易度に応じた支援回数を実施 【支援プログラムの例】 ●各領域にわたり技術検討会を実施 	
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 講師として有識者、専門家の派遣 技術支援サポーター及びコンサルタント 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	
経費負担	<ul style="list-style-type: none"> ●助成金として事業者へ直接交付 ●会議費、印刷費および消耗品など ●先進事例の調査に係る旅費の一部 ●事務局負担 ●講師派遣に係る謝金、交通費等 ●事務局派遣コンサルタントに係る経費等 	<ul style="list-style-type: none"> ●助成金として事業者へ直接交付 ●会議費、印刷費および消耗品など ●事務局負担 ●講師派遣に係る謝金、交通費等 ●事務局派遣コンサルタントに係る経費等 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左

※注：これらの助成金額等は事業の採択後、事務局と支援プログラムの実行内容を協議し決定します。